

宮古市初の「企業の森づくり活動」を目指して —東北公営企業(株)が宮古市内のフィールドを現地確認—

去る7月13日水道・水質関連企業の東北公営企業(株)(盛岡市)が「企業の森づくり活動」に取り組むため宮古市を訪れ、市及び森林整備課とともに現地を案内しました。

きっかけは、県HP掲載の「企業の森フィールド候補地」について森林整備課が県内企業にアンケート調査を行ったところ、同社が関心を示し、今回の調査となったものです。



現地は、市街地に近い黒森山一角の市有林(スギ36年生)で、付近には由緒ある黒森神社や千年を超えるスギやモミの巨木、研修等を行える

林業活動拠点施設「黒森ふれあい館」などがあります。

訪れた同社の柏社長(女性)は現地に満足し、①市が行う森林整備(間伐等)に対し資金を提供する ②会社としては二酸化炭素吸収など環境面での貢献をPR ③協定締結は8月下旬～9月中旬をメドなどで合意し、詳細は今後、企業・市・県の3者で検討することとなりました。

今回の現地案内で、近年、企業は地球環境保全への貢献の場を求めていることを再認識するとともに、森林整備への理解醸成のためにも当該活動の推進が必要と感じました。

